

令和3年9月2日

令和3年度

第三回 技術英語研修（スピーキング）

報告書

【主催】自然科学研究機構 分子科学研究所(大学連携研究設備ネットワーク)

【開催日】令和3年8月24日(火)

第一部 10:00～11:00

コミュニケーションを円滑に運ぶためのワークショップ（グループ学習）

第二部 13:00～17:00

「良案を引き出せ! ～技術者にあるある課題をテーマに～」

英語でのディスカッションとファシリテータの実践

【開催場所】オンライン（Zoom）

【講師】ふた葉プロジェクト（サイエンスコミュニケーター&ライター） 梅村綾子氏

【受講者】大学の技術職員、技術支援員 第一部 12名 第二部 10名 のべ22名

【プログラム】

第一部 コミュニケーションを円滑に運ぶためのワークショップ

グループに分かれてゲームなどを行いながら、英語でのコミュニケーションを経験。

第二部 「良案を引き出せ! ～技術者にあるある課題をテーマに～」

英語でのディスカッションとファシリテータの実践

13:00～ 講義（ファシリテータの役割、ディスカッションの極意について）

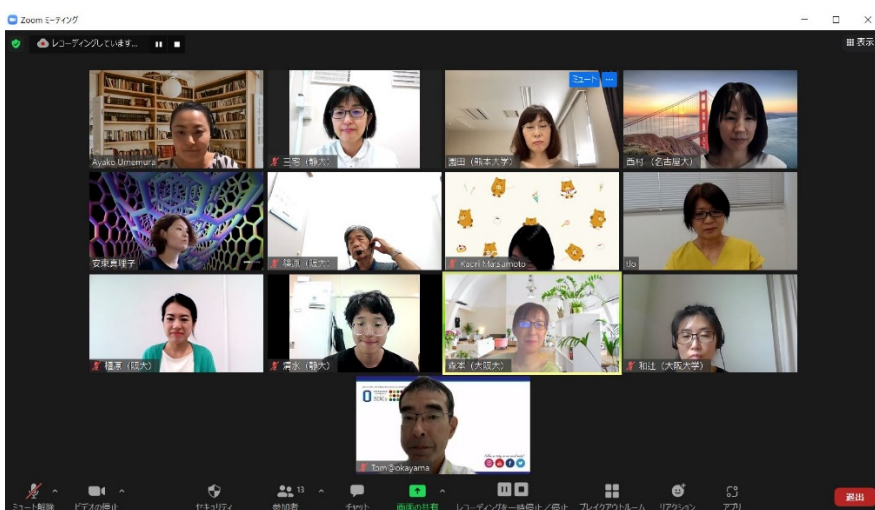
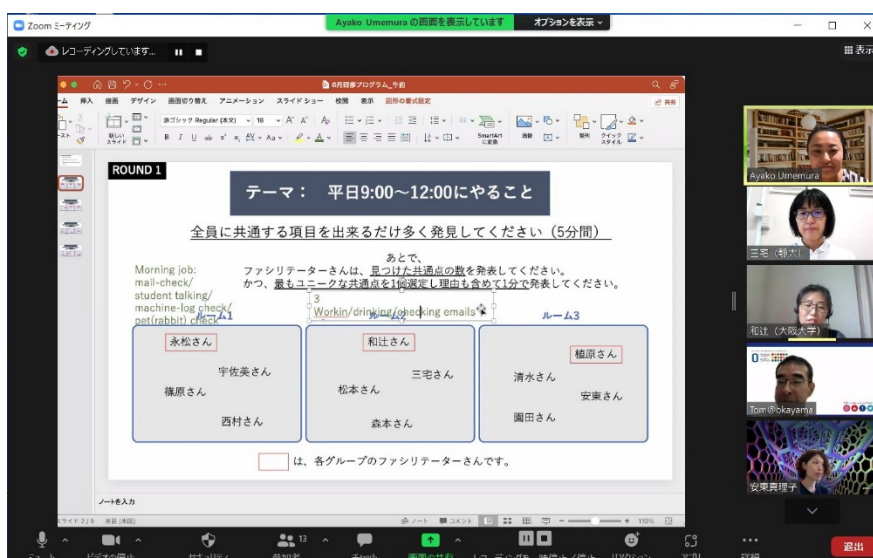
13:10～ グループに分かれてディスカッション。1テーマ30分で3～5テーマ。

16:30～ まとめ

【報告】

第一回、第二回と短時間の研修を行ってきて、もっと英語が話したい、長時間の研修も行いたい、という要望があった。そこで、第三回は「今日は一日英語三昧！」と銘打ち、すべて英語で進めるプログラムを作成し、研修を行った。

午前中は、英語の会話に慣れるとともに、ファシリテータの体験も含めたプログラムを実施した。大人数では発言する機会が減ってしまう、という過去の研修の反省点を活かし、今回は zoom のブレイクアウトルームを使用して 3~4 人のグループに別れ、5 分間のディスカッションを行った。全員に共通する項目をできるだけ多くみつける、というお題で、ファシリテータとなった人が意見をまとめて、ディスカッション後に発表した。グループを組み換え、全員がファシリテータを体験し、短い時間であったが、英語でコミュニケーションを取る、という研修の目的を達成することができた。



午後は英語でのファシリテータの実践を行った。午前中と同様にブレイクアウトルームを利用し、3~4人のグループに分かれて、ディスカッションを行った。ファシリテータとなった参加者がテーマについてのグループの意見をまとめ、ディスカッション後に発表を行った。午後はディスカッションの時間を25分としたが、技術職員の業務に関わるテーマであったため、活発なディスカッションが行われ、時間が足りないほどであった。

ファシリテータは、相手の発言の内容の理解、出てきた意見をまとめる作業など、これまでの英語研修で学んできたことを活用する場でもあり、第一回、第二回の参加者にとってはまさに実践の場となった。また、初めての参加者にとっても、英語を使ったコミュニケーションという点で、非常に有意義な研修となった。

The screenshot shows a Zoom meeting in progress. The main window displays a presentation slide with the following content:

テーマ：一人で行うか複数人で行うか？
装置管理への課題と対策をまとめよう！
Do you manage equipment by yourself or multiple staff members? Discuss and find out good solutions.

話し合い (25分間)

ファシリテーターさんは、皆の意見をまとめて、少なくとも1つ提案してください。(1グループ3分)

By multiple staff members	By multiple staff members	Alone
Management alone is high risk.	Management alone is high risk.	Main - Sub many tasks.
→ Hire students and train them well (already done in Shizuoka uni)	→ Hire students and train them well (already done in Shizuoka uni)	→ Hire students and train them well (already done in Shizuoka uni)
→ Networking between universities/companies	→ Networking between universities/companies	→ Networking between universities/companies
三宅さん	山田さん	永松さん

At the bottom of the slide, it says: "〇〇さんは、各グループのファシリテーターさんです。"

The Zoom interface shows a grid of 12 participants on the right side, including Ayako Umemura, 三宅 (特), 清水 (特入), 山田 (熊本大学), 安東真理子, 榎原 (阪大), Tom Gokajama, Chisa YAMADA@山本, and 西村 (金沢大学). The Zoom toolbar at the bottom includes options for mute, video, chat, and screen sharing.

まとめ

今回、長時間の研修を開催するにあたり、学生が夏休みで比較的時間が取りやすい8月を選んで開催したが、逆にこの時期は忙しいという技術職員も多く、開催時期の難しさを改めて感じた。長時間研修はまとまった時間が必要なため、英語をしっかりと学べるという反面、なかなか参加しづらいという面もあることから、次回はまた短時間での研修を行う予定である。

アンケート結果から、今回の研修の満足度が高いことが伺える。研修時間が長かったことと、少人数に別れてディスカッションを行ったことで、英語を使ったコミュニケーションを密に行うことができ、これが高い満足度に繋がったのではないかと考える。また、テーマも技術職員の業務に関連するものであり、英語のスキルアップだけでなく、参加者同士が相互理解を深めることができたのではないかと思う。

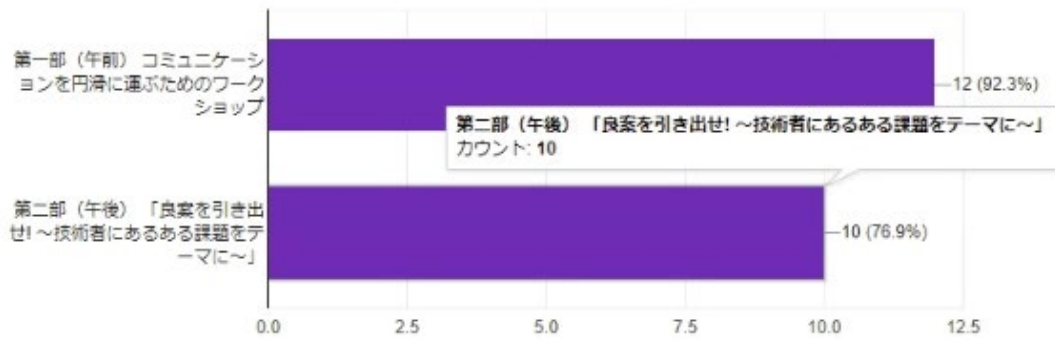
一方で、ブレイクアウトルームの設定に手間取るなど、研修準備が十分でなかったことが反省点である。また、研修人数が多いと、講師とのコミュニケーションが十分とれないと感じる参加者もいることが課題である。

今回の研修に参加することで、今後の業務に役に立つ、と回答した参加者がほとんどで、留学生との英語でのコミュニケーションだけでなく、ファシリテータとしての経験も、今後の業務に生かせるもので、非常に有意義なプログラムであったといえる。感想からも、研修の需要が高いことから、今後も業務に役立つようなプログラムを企画し、継続して研修を開催していきたい。

【アンケート】 回答者 13 名（今回初めての参加：2 名）

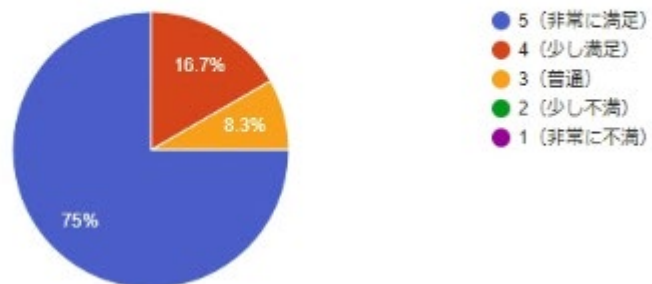
参加した回

13 件の回答



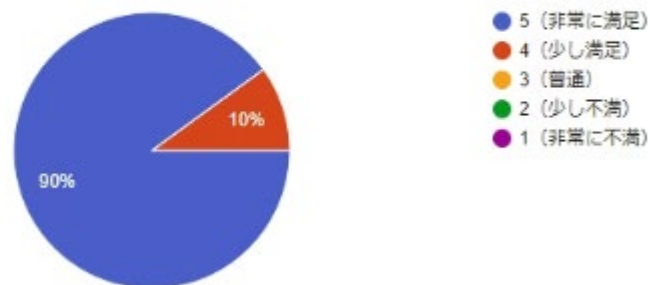
第一部の満足度（第一部に参加した人は回答してください）

12 件の回答



第二部の満足度（第二部に参加した人は回答してください）

10 件の回答



研修の良かった点

・全員が英語を話す時間がたっぷりとられていたことが満足でした。自分の言いたいことが相手に伝わるようにしっかり考えながら話せてとても良い経験になりました。今回は zoom のブレイクアウトルーム機能を活用した研修で、最初は慣れない機能に戸惑いましたが、慣れてからはスムーズにルームの移動もできてストレスなく受講することができました。

・"お互いの英語を聞きあいながらコミュニケーションをとる事が出来たこと。部屋に分かれることにより、長い間待つようなことなく効率的に学ぶことができたと思います。

また、取り上げられた題材も仕事内容に役立つような事でしたので、大変ありがたかったです。"

・コミュニケーションがとりやすい雰囲気だった

・上級者、中級者、初級者など英語のレベルが様々な方が参加されていました。そのため、初級者を中級者、上級者がサポートしながら高め合うという、良い研修環境が築かれていたと感じました。初級者の私などは、大変勉強になりました。

・ブレイクアウトルームに分かれた後の講師がいない状態でのディスカッションが不安でしたが、受講者がお互い助け合っているいい雰囲気を作り上げられたと思います。また、各テーマ終了後の先生からのフォードバックがとても勉強になりました。

・話す機会、聞く機会を均等に得られた事

・先生も参加者のみなさんも上手く話せなくても言葉が出るまで温かく待ってくださったこと。みじめな気持ちにならず、楽しめたことがよかったです。

・英語学習にとどまらず、大学技術職員としての課題に触れることができ、今後活かせる経験ができた。

・少人数で話し合いができたこと

・英語をたくさん話すことができた。また、いろいろな人と話すことができたので、英語だけでなく交流という面でも得られるものがあった。

・英語だけでなく、コミュニケーションをとれてよかった

・英語を話すことだけでなく、テーマについて熟考する機会が持てたこと、それを英語で表現しようと努力できたこと。

・発言する機会が多かった点がよかったと思います。

研修の悪かった点をご記入ください（特になしを除く）

・しいて言えば、日本人同士の研修なので留学生に通用するか疑問です。ただ、留学生もネイティブの方は少ないのであまり問題ではないかもしれません。

・悪かった点は、私自身の勉強不足でした。

・ブレイクアウトルームの運用に手間取ってしまった点

・テーマ毎の時間が短いように感じた

- ・少し長かったので、もう1回ぐらい休憩があるとよかったです。
- ・第2回目に比べると一人当たりのスピーキングの時間が少なかった気がします。自分次第かも知れませんが。
- ・困ったときは日本語で伝えてしまった。そんなとき、英語では何て言えばいいか、考える・教えてもらう時間が欲しかった。
- ・ブレイクアウトルームの使い方で手間取って、少しバタバタした点。
- ・時間が短かったので、もう少し時間があるとより良さそうに思った
- ・ブレイクアウトルームの設定に時間を取られ、時間が少なくなったことです。

今回の研修は、業務にどのように役に立ちそうですか？

・「相手に自分の意見を伝える」「相手の意見を聞き出す」という練習は今まであまりしていなかったかもしれません。今回はみっちり1日かけて練習したおかげで、ディスカッションの難しさと楽しさを学びました。実際の業務でも留学生と対話するときに、ディスカッションとまではいかななくても、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞き出す場面は多くあります。今回の研修で学んだことを活かして、しっかり留学生と意思疎通ができるように今後一層励んでいきたいと思えます。

・英語に関して言えば話すことに慣れてきて、あまり緊張せずに会話することができそうです。また、日ごろの仕事のやり方の見直しなど、英語に関係の無い業務にも役に立ちそうです。装置の管理体制の在り方は、組織によっていろいろ異なることがわかり、今後の参考になりました。

・業務に英語が必要な場面が増えてくると思うので、教えてもらったノウハウを生かしていきたい

・形にすることはできませんが、本研修が「外国人留学生とのコミュニケーションに対する気持ちの上での自分自身の緊張」を、ほぐしていただけた点が、外国人留学生への対応業務に役に立ちそうです。また、本研修を受講することによって、対話練習・訓練を日常的に繰り返すことが必要であると気付くことができました。

・業務に関係あるなし・英語/日本語に関わらず、自分の意見を伝えられるようになることはとても大切だと感じました。また、日本語でのディスカッション時には意識しなかった「参加者同士の助け合い・歩み寄り」の大切さを強く意識することができました。日本語のディスカッションの際にも、活かしていきたいと思えます。

・機器の説明に活用したい。

・留学生と日本人学生を区別しない、留学生に対する装置の説明は英語でしようとする個人的に決意したので、英語を使う機会は度々あります。文化の違いを意識しながら、留学生と上手く会話を繋げることに役立ちそうです。日頃、会話がぶつ切りになりがちなので。

・英語で話すことへの障壁が少なくなってきたので、留学生や外国人研究者との会話に積極

的になり、より深い研究支援が出来そう。

・相手が何を言おうとしているか、こちらの心がけで理解度が変わってきたので、勘違いがないように話をくみとる練習となりました。ファシリテータとして意見をまとめて簡潔に発表することも、留学生からの問い合わせ確認に役立ちそうです。

・留学生への技術指導の際に、必要なことを英語で伝えること。

・具体的には思いつきませんが、英語でコミュニケーションを取る際に活かしたいです。

・特定の業務への反映というよりは、伝えよ言うとする前向きな姿勢を引き出せたこと。

・英語で話す機会がかなり減っている昨今、リハビリを受けたようで楽しかったです。業務ですぐには役に立たないかもしれませんが、英語を話す準備態勢を整えられた、という感じ
です。

今回の技術英語研修の感想や、今後の技術英語研修に期待することなど

・全国の技術職員と一緒に英語の勉強をするという貴重な機会を継続していただきありがとうございます。過去に何度か技術英語研修に参加させていただいていますが、英語への自信が段々ついてきたことを感じます。普段の業務でも留学生の対応が億劫だと感じることはなくなり、むしろ色々話してみたいと前向きに考えるようになりました。今回ディスカッション練習を通じて英語力の向上だけでなく、他大学職員との交流という点でも収穫の多い研修でした。今後も技術英語研修を継続していただけると英語学習へのモチベーションにもなります。よろしくお願いします。

・終日の参加で疲れましたが、長く英語に触れることで聞く、話すの基本的なことの訓練ができ、大変有意義でした。今後も同じような内容で研修が受けられるとありがたいです。

・皆さん分析関係の職員の方が多かったので、知っておくと便利なフレーズがあれば教えていただきたいです

・「研究施設で機器利用をする外国人留学生への対応」に特化した様々なシチュエーションの動画コンテンツ (YouTube) を作成していただいて、自己研鑽・トレーニングのため、スラックメンバー間 (セキュリティー有り) での閲覧が自由にできるようになると、外国人留学生の対応をする技術職員に対して大変有意義なコンテンツになると感じました。

勝手なことを言ってすみません。"

・毎度のことですが、後半になってみんなが沢山話始めるのがもったいないな~と思います。参加者みんなですぐから場を温める工夫ができたならよかったですと反省しました。

・すごく勉強になりました。もっと早くから参加すればよかったです。参加者の方の仕事に対する熱い思いが励みになりました。

・午前はテーマの選定はとてもよかったです。時間が短くてまとめられなかったです。

10分ぐらいあるとよかったです。少人数で話す練習は今後も続けていただきたいです。

・英語で話す機会をたくさん設けてほしい。コロナもあり、留学生と接する機会も減ってい

るので、継続して開催してほしい。

- ・一般的な教養であったり、政治、時事問題等（工学系の時事でもよい）についてのディスカッション。

- ・ブレイクアウトルームを利用される場合、英語能力のレベルごとに分けていただくことを提案いたします。あらかじめアンケートを取り、3段階程度のレベルを自己申告していただくという形式はいかがでしょうか？